

第1回やす駅南口周辺整備構想

市民ワークショップニュース



第1回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ

日時：11月23日（祝/土）14：00～16：50

場所：市総合防災センター研修室

参加者：36名

滋賀県立大学：松岡教授（環境科学部環境建築デザイン学科）、
学生6名

立命館大学：及川教授（理工学部建築都市デザイン学科）、
学生9名

◆プログラム

1. 開会
2. 野洲駅南口周辺整備構想の概要説明
3. 本日の進め方
4. 自己紹介・話し合い
5. 閉会

駅前に対する思いとつながり・ 健康づくりに必要なこと

第2回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ

2月23日（日）14：00～ 市総合防災センター研修室

規模と配置について考えよう

◆ワークショップ開催の目的

- ・市民が主役となって取り組むため
- ・市民意見を広く聞き取るため
- ・専門家の知識、経験や学生の発想を取り入れるため

⇒市民と専門家、学生による共同作業

◆野洲駅南口周辺整備構想の概要

これまで駅前のにぎわいづくりは、地権者であった民間事業者のノウハウの活用が期待されてきましたが、市民が期待したにぎわいは実現されませんでした。

そして、今、民間事業者から土地を取得した野洲市が、市民が憩えて安心できる拠点整備を目指し、市民主体で検討を進めています。

本年6月まで、計6回にわたり議論された野洲駅南口周辺整備構想検討委員会からの提案を土台とし、「心と体の健康をテーマに人と人がつながることのできるにぎわいづくり」に向け、滋賀県立大学、立命館大学、野洲市がチームとなり、市民の思いと専門家のノウハウを融合させ、駅前のポテンシャルを最大限活かせる提案づくりを行っています。



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ

■話し合い①「駅前に対する思いの共有」

現在の駅前の良いところ、悪いところについて意見を出し合いました。

■出された主な意見■

- ・待ち合わせや待ち時間を過ごすことのできる場所がない
- ・朝夕しか人通りがなく、田舎の駅で駅前は暗いイメージ
- ・商店が少ない、商売関係はうまくいかない印象
- ・野洲市を象徴するものがない
- ・駅前に自然が少ない
- ・交通（バス路線）の要衝であり誰もが来やすい場所となっている
- ・駐車場が非常に多い
- ・バリアフリー整備が不十分



■話し合い②「つながりづくりに必要なこと／健康づくりに必要なこと」

市民広場、交流施設、図書館分室、アリーナ、病院、商業サービスの6つの機能について、イメージカードを利用しながら、どんな駅前が良いのかについて具体的な意見を共有しました。



商業サービス



① 朝市など地産地消、名産品のための物産展をすべき



② 駅前で時間を潰すための本屋や、飲食店、カフェ

■出された主な意見■

- ・健康で安全な食事ができるレストランが欲しい
- ・散髪屋さんや足湯
- ・コンビニなどちょっとした日用品を買える場所
- ・どこの街にもあるような商業施設は作らないほうがよい
- ・商業中心ではなく、市民がゆっくりできる憩いの場であってほしい

市民広場

■出された主な意見■

- ・噴水や三上山が見える展望台が欲しい
- ・銅鐸を一緒にアピール
- ・屋根つき広場
- ・ベンチを配置し木陰でくつろぐことのできる場所
- ・整備された緑やビオトープのある広場
- ・子どもが喜ぶ広場
- ・オープンにいろいろなことが行われる場所
- ・災害時は避難できる広い広場
- ・可動式の遊具のある広場
- ・洪水被害が出ないような水はけのよさも考慮すべき
- ・花が多く四季を感じ、楽しむことのできる広場



- ・健康につながる緑の空間
- ・全体を公園として、公園の中にいろいろな施設があるイメージ
- ・中心に広場を設置し、周囲に病院や交流施設などを配置
- ・芝生などのんびりできる場所

- ・イベントスペースがあれば若者が呼び込める
- ・スポーツもできる多目的な広場のほうがいい



- ・山の中のような自然を整備してはどうか
- 人工的な自然を子ども達に自然と教えることに抵抗がある
- 緑が多すぎると危ない
- 落葉樹は管理が大変で維持費もかかる

図書館分室

■出された主な意見■

- ・支援活動センターの機能を駅前に持ってくる
- ・午前中は子どもが利用し、昼間は高齢者、夜は通勤通学の利用が期待できる
- ・図書館と一緒に何かを絡める（広場・カフェ・本屋・病院）
- ・自習室の併設



交流施設

■出された主な意見■

- ・日ごとに絵画、生け花など様々な催しができる施設
- ・展示や発表の場が欲しい
- ・集会室、研修室は必要
- ・子どもを預かってもらえる場所は必要
- ・駅前なら地元以外の人も来てくれる
- ・クローズではなくオープンに使える場所が欲しい
- ・ニーズに合わせて柔軟に広さを調節できる部屋が欲しい
- ・個人レベルで借りられる部屋が欲しい



病院

■出された主な意見■

立地

- ・ 駅から直接いける病院
- ・ 駅前が良い／良くない
- ・ 交通渋滞が懸念されるため、郊外につくってシャトルバスを出すほうが良い
- ・ 駅前に病院があると明るさがなくなる

配置

- ・ 真ん中に病院があつてそこから枝のように広がるイメージ
- ・ 駅前につくるならば三上山の見える配置が良い

機能

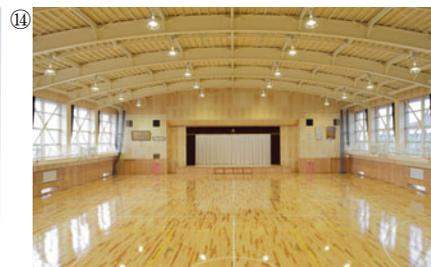
- ・ 予防の情報提供やプライマリーケアなど、健康に関する情報や相談を受けられる場所が必要
- ・ 病院にくる過程も含めて、健康的な活動がほしい
- ・ 産婦人科限定、人間ドック専門など、限定的な分野を発展させ気軽に検診を受けられる病院にするべき
- ・ 気軽に話ができる、市民広場と病院と交流施設が一体となったものがほしい



アリーナ

■出された主な意見■

- ・ ジム、プールは欲しい
- ・ 小さな施設でよいが、駅に帰ってきて1時間でも汗を流せるところが良い
- ・ 総合体育館があるためアリーナというよりは多目的ドームくらいの規模で十分
- ・ 駅隣接にするならば市外からも利用者が増えるようなアリーナを目指すべき
- ・ 大きなイベント時は利用者が多いため渋滞が懸念される



その他

■出された主な意見■

- ・ 健康になるための場所としての発信が必要
- ・ 高層ビルは好ましくない
- ・ 野洲駅を高架にし、南北の行き来を良くする
- ・ 駐車場が必要
- ・ 環境に配慮した持続可能なものにするべき
- ・ 雨水の氾濫が心配
- ・ ハード面よりソフト面、中身にお金を使ってほしい
- ・ 野洲市や駅前の情報を提供するインフォメーションセンターが中心に必要
- イベントや市民団体の活動などをすべて把握していて、団体と団体を引き合わせる役割も持つ
- インフォメーションセンターにいるのは全体をマネジメントする統括者
- 核となる人物を市民の中から選び各施設に配置。そして社会的な面だけでなくソフト面で運営していく人が必要
- 自然発生的に何かが起こるような仕掛けを作るのがインフォメーションセンターの役割

写真出典

- ①野田村観光協会 HP
- ②The Mad Journal LONDON
- ③アーバン・ガーデン・ウォッチング
- ④うちのblog
- ⑤スマイルガーデン@十勝
- ⑥信州 I・U-turn&tourist information
- ⑦社団法人日本カルチャーセンター協会
- ⑧寒川町 HP
- ⑨茨城県霞ヶ浦環境科学センター
- ⑩鳥取県福祉保健部 HP
- ⑪tetsuのブログ
- ⑫札幌通信病院 HP
- ⑬かごしま んだもしタウン
- ⑭長野市 HP